

20260422_i-スマ定例会（4月）_議事録（要旨版）

【開催概要】

開催日時：2026年4月22日 14:00～14:50

開催方法：オンライン（Teams）

参加団体数：32団体

【1. 事務局長挨拶】

上村新事務局長から、i-スマはデータ連携基盤やデジタルサービスを通じて市民生活の質向上を目指す取組であり、発足から約2年で60を超える企業・団体が参画していることへの謝意が示され、事業提案会やサービス連携が進展しており、今後も会員の協力を得ながら取組を充実させていきたい、との挨拶がありました。

【2. i-スマ運営関連】

新規参画団体として、以下1団体より挨拶がありました。

- Almaprism株式会社から、京都のスタートアップとして、ビデオゲームを活用した医療機器・支援プログラムを開発していること、一宮研伸大学との共同研究を契機にi-スマを知り、地域における多様な特性を持つ人を支える仕組みをi-スマの枠組みで模索していきたい、との挨拶がありました。

【3. 地域DXに係る活動概況】

一宮市の地域DXの全体像および直近の取組状況が説明されました。

【4. 既存事業の情報共有 | 2026年度実装事業】

2026年度に地域DX関連で実施する事業について、現時点では、「イチ推し20」等で公開されている事業の情報をご参考いただきたい旨の説明がありました。

【5. 新規事業の検討 | 2026年度以降の実証／実装事業のアイデア検討】

2026年度以降の事業検討の一環として開催予定の「DX事業提案会（市長プレゼン）」について、その内容や進め方の説明がありました。

【6. その他 | 会員／WG等からの情報共有】

以下の内容が共有されました。

- エイムズエーより、デジタル・デバイド対策WGについては、地域での支え合いをテーマに、市民・学生ボランティアの参加による仕組みづくりを目指すことが説明されました。直近は、勉強会をオンライン形式で開催予定であること、初回は5月下旬に実施予定であることが説明されました。
- 事務局より、新規WG設立時には、目的・体制等の基本情報を整理の上、定例会で紹介する方針が示されました。
- 事務局より、4/14（火）に開催した基盤利活用検討会（基盤WG）については、基盤接続済みサービスを対象にデータ連携アイデア検討を行ったこと、今後は未接続サービスを対象とした検討も予定している旨の説明がありました。

質疑応答・意見交換：

- なし

【7. 次回以降のi-スマ活動について】

次期会長の選任について、現会長である白鳥会長から自薦があった旨が報告されました。今後の対応としては、規約に基づき所定の手続きを経たうえで、5月に実施予定の書面総会において承認決議を行う予定であることが共有されました。また、6月初めの週に結果通知を行い、その後、7月のi-スマ定例会にて会長からの挨拶を行う予定であることが共有されました。加えて、次回定例会は5/27（水）14:00～15:30にオンラインで開催予定であり、同月下旬にはデジタル・デバイド対策WG、6/30（火）には対面で事業提案会を実施予定であることが案内されました。

【総括】

- 白鳥会長ご欠席のため割愛